

教育振興基本計画部会(第8回)の審議について

1. 現行計画の概括的な評価 ※第4回～第7回の議論を踏まえ事務局作成

以下のとおり、各基本的方向ごとにみれば、各取組の進捗により一定の成果とともに課題がみられる。

一方、10年間を通じて目指すべき教育の姿である、

- ①義務教育修了までにすべての子どもに自立して社会で生きていく基礎を育てる
- ②社会を支え、発展させるとともに、国際社会をリードする人材を育てる

の達成に向けて、教育に対する社会全体の連携の強化や各学校段階間や学校・社会生活間との接続が十分に図られているとは必ずしも言えない状況であることから、第二期計画策定に当たっては、このような視点も踏まえつつ、実効的な各種方策を検討する必要があると考えられる。

(基本的方向1 社会全体で教育の向上に取り組む)

学校支援地域本部等の取組により地域ぐるみの教育支援の実践は年々増加しているが、全国的に教育を支える環境・機運が醸成されたとまではいえず、社会の変化に伴う新たな課題も生じていることから、多様な主体の協働を促すためのネットワークの構築など一層の推進が必要。

また、少子高齢化や厳しい雇用環境等を受けて社会人や高齢者等の多様な学習ニーズが高まっているなか、ライフスタイル等に応じた学習機会の整備、学習の質の保証と学習成果の評価活用に係る方策の検討が必要。

(基本的方向2 個性を尊重しつつ能力を伸ばし、個人として、社会の一員として生きる基盤を育てる)

学力については、国際調査等において我が国は概ね高い水準となり向上が図られたが、低学力層は依然トップレベルの国々と比べ多く、また、学ぶ意欲や学習習慣は国際的にみて低い状況であり、検証改善サイクルの継続的な実施や教員の資質能力の向上など一層の推進が必要。また、引き続き規範意識や社会性などを育てるため、道徳教育や体験活動の一層の推進と、生徒指導の一層の充実などが必要。体力については、昭和60年頃と比較して低水準にあり、また、運動する子どもとしない子どもが二極化し、取組の一層の推進が必要。

さらに、東日本大震災やグローバル化の進展等を背景に、困難な状況においても状況を的確に判断し行動する力や、コミュニケーション力、チャレンジ精神、リーダーシップ、創造性などの重要性が指摘されており、推進方策の検討が必要。

(基本的方向3 教養と専門性を備えた知性豊かな人間を養成し、社会の発展を支える)

各大学等においてカリキュラム改革や組織運営の改善など主体的な取組が一定程度進捗し、国際的な教育研究拠点の構築等も図られている。国際化・情報化等が進展する知識基盤社会において、グローバルに活躍できる人材や新たな価値を創造する人材の養成など、大学の果たす役割が一層重要となっている。このため、教育の質の保証と向上、大学の機能別分化や連携、大学の組織経営基盤の強化、大学の国際化の推進等に向けた検討を一層進めることが必要。

(基本的方向4 子どもたちの安全・安心を確保するとともに、質の高い教育環境を整備する)



学校耐震化は年々進捗しているが、地方公共団体によってばらつきがみられるほか、老朽化対策など教育環境の質的改善に向け、一層の取組が必要。

また、高校授業料実質無償化や奨学金の充実等の取組を図っているが、家庭の経済状況等が進路や学歴に影響を及ぼすなど格差の固定化の懸念も指摘されており、学力の定着や学習習慣の改善等に役立つきめ細かで質の高い教育環境の整備や教育費負担の軽減等の支援が必要。

2. これまでの議論と今後の審議の進め方

- 基本計画策定の諮問（6月6日）後、部会を4回にわたり開催。
- 第4回（6月13日）において、現行計画のフォローアップ等。

- 第5回～第7回において、現在の社会状況や東日本大震災の教訓を踏まえ、以下の4点を次期基本計画策定に向けた横断的な視点として概ね整理。

- ・ 学びのセーフティネット
（学習機会の確保、安心安全な教育環境）
- ・ 社会を生き抜く力
（教育の質の向上やその保障）
- ・ 絆づくりとコミュニティの再構築
（社会全体の教育力向上、個人の社会参画など）
- ・ 未来への飛躍
（グローバル化対応、イノベーション創出、社会的課題のための人材養成）

- 今後の審議の進め方として、これまでの議論を踏まえ、①全体構成の在り方、②政策の成果目標、③具体的方策（重点的に推進すべき方策を含む）を議論すること、各分科会との連携を図ること等が必要。

3. 今回会議の審議内容

- ① 上記の審議経緯・今後の方針を再確認・共有
- ② 社会状況を踏まえた今後の教育行政の方向性と課題について整理した上で、次期計画のフレームワークについて一定の合意形成

※個別の具体的政策のご意見については、骨子等の策定の審議の際に改めて議論。